

活動の場所

大阪府枚方市
東部循環センター緩衝緑地



活動目的

- 生態系に即した植樹により環境保護に貢献する。
- 社員の環境意識向上とボランティアマインドの醸成を図る。
- 社員・家族・一般市民の皆様が自然とふれあうことの出来る憩いの場所を提供する。

活動内容

2019年より、枚方市東部資源循環センター周辺自然緑地に大阪府のアドプトフォレスト制度を活用して荒廃した竹林を伐採し、125本の桜を植樹するなど同地を『なごみの里』として里山保全活動を展開することで生物多様性の推進に貢献して参りました。また、桜並木を竹から守るべく多勢の社員と家族が参加する「たけのご掘り」も毎年の恒例行事となりました。今後は社員・家族や地域の皆様の更なる参加を得て、当該活動を一層活性化させて参ります。



PRしたいポイント

- ・「なごみの里」に植栽した桜（ソメイヨシノ123本、しだれ桜2本）やアジサイの保全と同地に合った植物を植えて、見どころを増やす。
- ・「なごみの里」保全活動を通じて、地域の皆様に貢献する。（小学校や老健施設などに活用して頂く）
- ・社員、家族、一般市民の皆様が自然とふれあうことの出来る憩いの場所を提供する。

活動効果、今後の展開 等

- (1) 参加者の増加：社員、市民
 - ・新入社員、社員・家族による保全活動
 - ・ボランティアグループとの協働
 - ・土日作業（竹チップ製造など）への社員参加

※今年はクヌギやアカメガシワの稚樹がたくさん発芽しており、プランターに植え替えて1~2年間育て、その後斜面に植える活動を実施予定。
- (2) 利用者の増加：社員、市民
 - ・環境学習地としての利用
 - ①清掃工場社会見学の小学生
 - ②地元高校のフィールドワーク地
 - ・桜やアジサイの見学など、希望団体の利用：老健施設他
 - ・同地資源の無償提供 → 老健施設、保育所、市民
 - ①七タの笹 ②腐葉土 ③カブトムシ幼虫 ④どんぐり